

令和元年度第1回魚沼市自立支援協議会全体会 議事録

日時：令和元年6月5日（水）14：00～15：15

場所：かけはし二階 研修室

出席委員：

（障害者団体・家族）

井口正博委員（魚沼市家族会）

大塚貴美委員（新潟自閉症協会連合会魚沼地区分会ぴっころ）

桜井 忍委員（魚沼市身体障害者福祉協議会）

（障害福祉サービス利用者）

野村正信委員（特別養護老人ホームあぶるま苑）

（相談支援事業者）

勝 高太郎委員（うおぬま相談支援センター）

（障害福祉サービス事業者）

大島良一委員（魚沼地区障害福祉組合）

佐藤俊道委員（社会福祉法人魚沼更生福祉会）

佐藤ひろみ委員（社会福祉法人魚沼地域福祉会）

渡部健児委員（社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会）

（保健・医療）

滝沢美智子委員（一般財団法人魚沼市医療公社）

（教育機関）

吉橋 哲委員（魚沼市教育委員会）

（教育機関）

細井哲明委員（新潟県立小出特別支援学校）

（企業・雇用）

森山一夫委員（南魚沼公共職業安定所小出出張所）

欠席委員：

（障害者団体・家族）

水野喜美枝委員（魚沼市手をつなぐ育成会）

出席委員13名、欠席委員1名

オブザーバー

魚沼地域振興局健康福祉部地域保健課 関精神保健福祉相談員

南魚沼地域振興局健康福祉環境部 課長代理 新井田渉

魚沼圏域障害者地域生活支援センターみなみうおぬま 南雲アドバイザー

魚沼圏域障害者地域生活支援センターかけはし 館川アドバイザー

障がい者就業・生活支援センターあおぞら 田村主任就業支援ワーカー

魚沼市子育て支援センター センター長 磯部宏美

相談支援事業所なないろ 諏佐相談員

事務局

魚沼市福祉支援課 小島課長、星係長

うおぬま相談支援センター 中沢相談支援専門員、山之内相談支援専門員

<次第>

1. 開会

出席委員13名、欠席委員1名のため魚沼市自立支援協議会設置要綱第6条第3項に基づき、令和元年度第1回魚沼市自立支援協議会全体会成立、開会。

2. 市役所市民福祉部福祉支援課長あいさつ（小島課長）

魚沼市の組織機構が変わったことで、市民福祉部福祉支援課に名称が変わった。来年から新庁舎になることや、部内の横の連携をスムーズに行う目的がある。

3. 委嘱状交付、自己紹介

新規委員の委嘱状は机上配布。

委員及びオブザーバーの自己紹介。

4. 報告事項

①地域生活支援拠点等への取組について

資料No. 1に沿って、小島課長より説明。拠点等の整備にあたっては協議会の場を用いて関係機関等が参画して検討していくこととなっている。5つの機能すべてが揃わなくても、最低限いくつかの機能を備えて、他の機能は数年度に整備するなど計画を持ったかたちでも協議会の承認があれば指定をとりスタートすることができる、とされている。

②国民文化祭・障害芸術祭についての協力依頼

配布したプレガイドブックを見ながら、星係長から説明。9/15～11/30の間、新潟県全体で開催される。湯沢・魚沼エリアでは雪国文化博覧会がテーマ。プレイイベントとして新潟県庁の正面玄関に魚沼更生園が作ったカウントダウンボードが飾られている。機会があればご覧ください。

③就労定着支援事業の開始について

資料No. 2に沿って、佐藤所長より説明。6月1日からひろかみ工芸が開始。事業概要と支援の中身の説明がある。スタートしてからの課題等を事業所や法人で捉えて対応して解決していき、協議会でも報告を行っていく予定。

5. 議事

①地域生活支援拠点等検討・整備ワーキンググループの設置について

資料No. 3に沿って勝センター長より説明。今後は自立支援協議会事務局会議を中心にワーキンググループを設置して具体的な検討を進めていく予定。最終的な決定は協議会の承認と議事録で確認となるため、進捗状況を協議会委員に提示しながら、意見等を聞き、

進めていきたいと考えている。市内にある既存の施設をまず活用して各事業所が連携し、地域の障害者を支える面的整備の部分を基本として考えている。一部多機能型の機能の整備も必要ではないかと現時点では考えている。常時利用可能な緊急入所の枠の確保と緊急時の対応の軸となるコーディネーターの養成。緊急対応を考えた時に障害福祉分野だけにとどまらず、市内の幅広い分野を含めた包括的な対応のためのものを考えていくようにするのも検討の材料になってくると考えている。この部分を確認しながら進めていきたい。

昨年度は事務局会議の中で市内の事業所の機能や現状の役割について資料上で点検を行った。不足する機能等については5つの機能ごとにすでにあるもの、追加しなければいけないもの、と機能ごとに大まかに分けている。これを材料に具体的に拠点等整備をどう進めていくか検討していくことになる。ワーキンググループの進め方は専門部会と絡んで検討が必要な部分も出て来るので、合同開催など柔軟な対応で調整して進めていく。検討の他、関係団体、法人との協議のための情報収集、連絡会等の実施や、先進地の視察等も考えている。魚沼市では今年度ニーズ調査をする予定になっているので、その内容を踏まえて「緊急時の受け入れ」のところの定義付けなど、準備の中に活かしていきたい。支援者のためのマニュアル作りにつなげていきたい。

今年度大まかな方向性が固まってくれば来年度は具体的な整備方針を決定して整備を進めていきたいと考えている。

ワーキンググループは偶数月を定期開催とし、検討している内容に合わせてそこに臨時開催等も含めて実施していく。構成員は5つの機能それぞれの内容を一堂に会しての実施ではなく、機能ごとに検討を進めていくところで必要な構成員を市内の各法人事業所の方から協力をお願いしたいと考えている。

②今年度の各専門部会の取組について

資料 No.4 に沿って、事務局山之内より説明。重点目標である地域生活支援拠点等検討ワーキンググループと療育支援部会については今年度、年間スケジュールを組んで検討を行う予定にしている。他の専門部会は不定期で行っていく予定。基幹相談支援センターの検討や、うおぬまはっぴいねっとわーく(共同受注ネットワーク)の見直しを検討テーマに新たに追加した。拠点等整備検討・整備ワーキンググループの進捗状況は12月頃にとりまとめ会を開いて委員に報告を行いたいと考えている。

(質疑応答等)

大塚貴美委員：療育支援部会のライフステージごとの検証は具体的にどのようにしていたのか教えてもらいたい。

事務局山之内：第5期魚沼市障害福祉計画に魚沼市の療育支援体制図が載っているが、支援機関が載っていても具体的な関わりや制度、どのタイミングで支援者が関わっているかなどは見えていなかったもので、支援体制整備のために昨年度は乳幼児期に関わる支援者で集まって確認作業を行った。

大塚貴美委員：支援者だけでなく、支援を受ける当事者の意見も聞いて欲しい。

6. 委員、オブザーバーからの連絡、情報提供

- ・魚沼市社会福祉協議会主催の「身寄りなし問題」の勉強会に自立支援協議会として共催を行うことにした。毎月1回、小出ボランティアセンターで行う予定。対象者は今のところ支援者のみの予定。魚沼市版のガイドラインをまとめていきたい。

7. その他

- ・次期障害福祉計画と地域生活支援拠点等整備に活かす目的でアンケート調査を実施予定。配布した封筒の中にアンケート調査の項目が入っているが、それについて確認していただいて意見があればお願いしたい。7月末が期限。
- ・魚沼市は平成30年4月に手話言語条例を策定した。障害福祉サービス事業所の方を対象に聾の方の生活や実体験で困っていることなどを聞ける講演会を今秋ごろに開催予定。平成30年度に市の職員向けに行った講演会だったが、好評だったので、多くの方に聞いてもらいたいと考えている。

8. 閉会

井口会長よりあいさつ